

【NEWS RELEASE】

2024年9月12日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
三井住友 DS アセットマネジメント株式会社

水素ファンドへの出資および運営について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、主要 LP 投資家として、水素関連分野への投資に特化したファンド「Japan Hydrogen Fund」（以下「本ファンド」）と出資契約を締結するとともに、三井住友 DS アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長兼 CEO：猿田 隆、以下「三井住友 DS」）が本ファンドの運営に参画いたします。本 LP 出資は、リスクテイクを通じて、社会的価値創造に資するお客さまとの事業共創・開発、新たな技術の開発や産業の育成を支える枠組みのひとつとして、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）が公表した、社会的価値創造投資枠（※1）を活用した出資となります。

本ファンドは三井住友 DS、株式会社アドバンテッジパートナーズ（以下「AP」、グループ会社を含めて「AP グループ」）、一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会（以下「JH2A」）の3社が運営いたします。それぞれ三井住友 DS がファンド管理サービスおよびサステナブル投資・日本裨益性評価を、AP グループが投資アドバイザリー業務および運營業務サポートを、JH2A が各委員会の活動や448社・団体に上る会員企業との連携促進を主な役割として担います。

三井住友 DS は、各事業の中長期に亘る安定性や持続性を洞察する上で、財務情報のみならず、サステナビリティ等の非財務情報が重要な要素と考えており、サステナブル投資評価を通じて、サステナビリティの側面についても十分に考慮した運営を行ってまいります。

本ファンドは気候変動への対応のため、公的機関および民間機関と幅広く協業しながら、水素関連企業および水素関連プロジェクトへの資金供給を通じた、日本および世界の水素サプライチェーンの早期構築を目指しています。2024年6月6日には、経済産業省がインド太平洋経済枠組み（Indo-Pacific Economic Framework for Prosperity、以下「IPEF」）域内の水素サプライチェーン構築を目指すため、本ファンド内に IPEF Window（※2）を設定し、IPEF 域内の水素関連企業および水素関連プロジェクトへの資金供給を強化するための官民協働の枠組みを示しました。

SMBC グループは、本ファンドへの出資・参画を通じて、資金供給の面から水素社会の実現に貢献するだけでなく、今後拡大が見込まれる水素関連プロジェクトを事業・ファイナンスの両面から

後押しし、新エネルギーの市場形成および実態経済の脱炭素化に貢献してまいります。

※1 社会的価値創造投資枠

SMBCグループの2024年5月17日付プレスリリース「社会的価値の創造に向けた経費枠の設定について」ご参照 (https://www.smbc.co.jp/news/pdf/j20240517_01.pdf)

※2 IPEF Window

AP・JH2Aの2024年6月7日付連名プレスリリース「水素ファンドにおけるIPEF Windowの設定について」ご参照 (<https://www.advantagepartners.com/wp/wp-content/uploads/2024/06/2024-06-06-JP.pdf>)

【ご参考】

- ・SMBCグループの水素関連の取組

SMBCグループでは、水素社会の実装に向けて、グローバルベースで以下のような金融業界の枠組みを超えた水素関連の取組を推し進めています。

2015年	三井住友 ファイナンス& リース	商業用移動式水素ステーションリース取扱開始	本邦初
2018年	SMBC グループ	Hydrogen Council加盟	民間金融機関初
2020年	三井住友銀行	中部圏水素利用協議会加盟	事務局として参画
2020年	SMBC グループ	水素バリューチェーン推進協議会(JH2A)設立	共同代表理事として参画
2023年	三井住友銀行	グリーンアンモニア製造事業向けプロジェクトファイナンス	世界初
2023年	三井住友銀行	豪州液化水素製造PJ (CQ-H2) のFinancial Advisor (FA) に就任	豪州最大規模PJのFA
2024年	三井住友銀行	水素還元鉄の製造事業向けプロジェクトファイナンス	アジア唯一の銀行として参画

- ・各団体・企業の概要

■一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会

所在地 : 東京都千代田区霞が関3丁目2-5 霞が関ビルディング 36F

事業内容 : 社会実装プロジェクトの提案・調整、需要創出・規制緩和等の政策提言等

■株式会社アドバンテッジパートナーズ

所在地 : 東京都港区虎ノ門四丁目1番28号 虎ノ門タワーズオフィス 17階

事業内容 : プライベートエクイティファンドの管理・運営

以 上